

「家族を考える」 ガイダンスと家庭分野A

＜家族をキーワードに、ガイダンスから家庭生活Aと続く授業展開＞

ガイダンスとして家庭分野の最初の時間では、まず家族を想定させる。家庭生活の一日の生活のイメージを描かせ、家族の仕事を取り上げ、学ぶべき家庭分野の内容と関連付けて、2時間のガイダンスの時間に家庭分野の授業内容を具体的に確認する。ガイダンスに続き、家庭分野Aの内容「家族・家庭と子どもの成長」とつなげていく。いろいろな家族や家庭生活の問題点や課題の解決方法、家庭の機能や家族関係をよりよくする方法を取り上げ考えさせていきたい。

1. はじめに

現在生徒をとりまく環境は日々変化し、家庭生活も多様化している。中学生の時期にある生徒は、家族に依存し生活しており、家族を必要だと思っているが、家族からの干渉を受けずに生活をしたいという自立心を芽生えさせる時期でもある。そこで家族の役割を再認識させ、家族の大切さを考えさせることが必要である。

2. ガイダンス

1年での最初の授業である。2時間をガイダンスの時間として、3年間で家庭分野の時間にどのような学習をするのかを説明し、どんなことを学ぶべきかを確認させていきたい。「生活の主体者になる」ために、家庭分野で学んだことが生活で生かせるようになることを、生徒に目標としてもたせたい。そのため、家庭生活を振り返り、ガイダンスをすすめていきたい。

＜学習内容＞

- ①家庭生活をグループで振り返る
 - ②生活を分析し、家庭分野の内容をおさえていく
- 生徒それぞれの家族を想定してストーリーを作りたいところであるが、複雑な家庭環境にある生徒も多いことから、父・母・自分・弟・祖母の5人家族を基本とした。5人の家族を思い描かせながら、家庭分野で何を学ぶのか、どのような課題があるのか生徒に毎日の生活を振り返り確認させる。例えば、一日の生活を思い描く。朝食には何を食べればよいのか、食事の準備

は誰が何をどうするのか、家族のメンバーによって必要な栄養量はいくらか、などである。また、買い物に行った場合、服選びはどうするのがよいか、食料品は何を選ぶのか、賢い消費者としては何をポイントに選ぶとよいのか。住まいについては、地震対策や家庭内事故対策はどうするのか、などの問題がある。生活を分析していくと、学ぶべきこと、知りたいことが具体的に見えてきて、家庭分野の学習へ関心をもつことにもなる。授業の流れとしては、話し合いなど、グループ活動を中心として生徒同士のかかわりをもたせてすすめていく。生活してきた一つひとつを「してもらおう」から「家族のために行う」立場としてとらえる視点をもたせたいと考える。

3. 家庭分野A

ガイダンスに引き続き、5人家族をモデルとして、よりよい家族関係について考えさせたい。

学習指導計画

- ①家庭や家族の機能
- ②いろいろな家族が抱える問題
- ③家族における課題と解決方法(話し合い活動)
- ④家族における課題と解決方法(発表)
- ⑤よりよい家族関係

最初の時間は、自分の家庭生活を振り返らせ、家族の仕事や役割を考えさせたい。話し合いによって、家庭や家族の機能について整理をさせる。家庭生活の意

義や家族の大切さについても確認させる。「自分にとっての家族」についても考えを深めさせたい。

2時間目では、いろいろな家族が抱える日常生活の問題をグループで話し合わせる。まず、日常生活で起こりそうな問題をあげさせる。経験や知識を出しあっているいろいろな家族の日常生活を想像する中で、家族が抱える問題を見付けることができる。個人の考えでは限界があるので、グループで一人ひとりの経験や知識を生かして考えあうことによって、問題を見つけさせる。モデル家族だけでなく様々な家族の形態もおさえたい。生徒は、日常生活の中で家族が抱える問題を考えることは少ないが、生徒同士のかかわりの中で、それぞれの実体験だけでなく、漫画やドラマなどから得た知識を出しあうことで、多様な問題を再確認することができる。以下のような生徒の意見があった。

- 人間関係・・・親子げんか、兄弟げんか
祖母と母との仲がわるい
言うことをきかない
会話がな
- 価値観・・・祖父母と親子の意見が分かれる
祖父母が孫を甘やかす
- 家事の加重負担・・・家事をみんながしない
母親のみが家事を行う

3時間目には、生徒の見つけた問題を整理し、解決方法を考えさせる。家族や家庭生活の課題の解決方法をグループで検討しあう活動を通して、家族関係をよりよくする方法を工夫することができる。以下のような生徒の意見があった。

- ・家事は一人でするのではなく、みんなで分担するのがよい。
- ・要求するばかりではなく、周りのことを考えてときには我慢をする。
- ・ありがとうという感謝の気持ちを伝える。
- ・家族とかかわる時間をみつけてじっくりと話をする機会をふやす。

- ・ストレスの解消をするために楽しいことを計画する。
- ・家族で決めなくてはいけないことがあるときには話し合いの場を設定する。

4時間目は、家族や家庭生活の課題の解決方法の発表を通して、家庭の機能や家族関係をよりよくする方法を確認しあう。課題を解決することが、家庭の機能を維持することにつながっていることを理解できるように、グループの発表をワークシートに整理させる。自分自身も家族の一員としての責任を果たせるように、よりよい家族関係を意識しながら、解決方法を工夫できるようにさせたい。

5時間目は、自分と家族とのかかわりについて見直し、家族関係をよりよくするために自分ができることについて考えさせる。授業をとおして、家族に対する思いや家族関係をよりよくする言動を考えさせ、自分の家庭生活に生かしていく力を育てたい。また、家庭の仕事を家族で協力しあい分担することの大切さを理解させたい。

4. 成果と課題

授業前には家族が抱える問題を意識していなかった生徒が、「家族形態によって異なる問題もあったが、どんな家族にも共通する問題がたくさんある」と述べ、問題の具体に目を向けるなどの変容を見取ることができた。家族が抱える課題を解決する方法を工夫したことで、家族に対して期待がもてなかった生徒が、自分の家族とよりよくかかわる方法を見いだせた。

学習を通して、自分の家族が抱える課題に気付かせ、考えた多様な解決方法から、最適な方法を状況に応じて活用することが可能となった。つまり、将来、どんな家族形態となっても、家庭生活や家族とのかかわりに期待をもってよりよい家族関係を築こうとすることができるであろう。

これからも、生活を充実向上させるために進んで実践しようとする態度を育てていきたい。

参考文献・参考Webページなど

参考文献…中国・四国地区中学校技術・家庭科研究大会「山口大会要録」